

2012年アセンション日記

真紀

私をつき動かす原動力、私の根底に静かだけど力強く流れるもの、そして永遠につきないものは

「宇宙と宇宙存在のためになりたい」ということだったと深いレベルでわかったことです。それは、今この時期に地球上にいることが私の魂自らの強い希望であったと確信できるものです。太陽になりたいのもこの思いからの手段としてであって、私の核にあるものはこれなのだわかりました。これが私の至福で、それさえできれば、あとは何もいらぬ。でもこれがあれば、どんな時もなにがあっても、ぶれないでいられる。いままで3日坊主なところが多々あった私ですが、それすらもきっとここに辿り着くために必要なプロセスだったのだと思います。やっと本当の自分の奥にある決してゆるがないものがわかり、宇宙サイズの大きな視点となって、ものすごく強くなっていて、そして幸せ。わかったというより、やっと本当の自分自身になれたということになるかもしれません。本来の自分になった。2012年の最大の驚きと感動とプレゼントです。今振り返って、私は自分がやりたいものにちゃんとなっていたのだと、道はしっかりあって、ちゃんとこの道を歩いていたのだと思います。いろいろなところでアセンションを難しく、書いてあるけれど、実はものすごくシンプルなのではないかと、自分の奥は案外単純だったことに気づいて、宇宙の真理もとてもシンプルなのではないかと思ひます。難しくしているのは、この3Dの私達。決して難しいことではなく、今の地球と宇宙の動きにあわせていく。宇宙の真理を知らずして、本当の意味で満たされる幸せってないように思ひます。宇宙と共に生きていく。だって、みんな宇宙人だから。そして私達は一なる根源への帰還の今に、すべての記憶をなくすことを知りつつ、根源との分離を知っていつつ、それでもものぞんで生まれている愛と勇気を持った私達だから。